

# WEEKLY NEWS 2016 週報 通算 2209回《22回》

第2640地区

## 和歌山東南 ロータリークラブ

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>



会長 土屋一博 幹事 中曾真二郎

会報委員長 山本真司

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿

第1・第2：18:30～(夜)

第3・第4・第5：12:30～(昼)

事務局 E-Mail

a-rotary@coral.cypress.ne.jp

本日の例会  
12月 25日(日)  
18:30～

『クリスマス親睦家族例会』 和歌山マリーナシティホテル

- ・開会点鐘 土屋会長 ・ロータリーソング：われ等和歌山東南ロータリー ・出席報告(例会委員会)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告 ・閉会点鐘 土屋会長
- 『クリスマス家族会開会』親睦委員会 お食事・歓談・アトラクション・サンタさんよりクリスマスプレゼント他

先週例会報告 会場監督 山田さち子

米山奨学生 ディリニ ニサンサラ様

### 会長挨拶

#### 土屋 一博 会長

皆様こんばんは。ゲストのディリニさん、いらっしゃい。どうぞごゆっくりしてください。先週 年次総会も終わり、22回目の例会です。来週は和歌山マリーナシティホテルでの「クリスマス親睦家族例会」ですから 12月はこの例会場では最後になります。プログラムの「上半期活動報告 各委員会」で一つの節目です。皆様のご協力の元、ここまで支えて頂き有難うございます。後半戦も色々なプログラムが控えております。あと半分、又お力を貸していただき「とにかく動こう」のテーマに基づき、頑張っていただきたいので、よろしくお願ひいたします。下半期はもう少しちゃんと喋れるように努力します。



### 幹事報告

#### 中曾真二郎 幹事

- ① 2件各テーブルに一部置いています。お目通しください。・15-16年度 ロータリーの友事務所事業報告書。・RI2640 地区 財団補助金申請ハンドブック
- ② 地区より「米山奨学生クリスマス会」の案内が再度届いています。  
日時：12月 16日(金) 18:30～21:00、場所：ホテルきららリゾート関空4階  
会費：10,000円 ご参加頂けます方は事務局までお知らせください。
- ③ 来週の例会は 25 日(日)クリスマス親睦家族例会です。場所は和歌山マリーナシティホテルです。21日(水)の例会は例会変更のため休会です。
- ④ 本日例会終了後、定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願ひ致します。



### ニコニコ箱

#### 郷間博敏 副会計

- 土屋君・先日、五男が山口県の徳山大学に合格しました。大学生が2人になります。  
しんどいです。
- 西口君・東南会ゴルフコンペ優勝できました。ありがとうございます。  
ご本人お誕生日お祝い・吉田君。
- 配偶者お誕生日お祝い・塩崎君。
- ご結婚記念日お祝い・溝落君。



### ロータリー財団

保田君・本日早退させていただきます。すみません。



## 和歌山東南ロータリークラブ

ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
累計 1,271,617	263,000	202,200	16,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	44名	12/14	32名	78.05%
出席免除会員	3名	11/30	37名	86.05%



十一月  
ご結婚記念日お祝い



「米山奨学生へ土屋会長より

12月分奨学金・奨学生証受渡し」

2016-2017年 米山奨学生 リティガラ ディリニニサンサラさん (スリランカ)



## 「上半期活動報告② 各委員会」

### ■ 会報(広報・雑誌担当)委員会 委員長 山本真司 副委員長 神谷尚孝



会報は雑誌と広報担当に分かれています。

まず、雑誌担当としましては、会報用の写真撮影をさせて頂いています。しかしながら、肝心の記事文章は全てとても優秀な渡辺さん任せです。例会前日にメールで原稿を送っててくれます、そして内容確認をさせて頂いていますが、未だ訂正箇所がありません。よって下期も写真撮影のみに徹しようと思っています。

もう一つの広報は、手続き要覧に書かれています様に、ロータリーとは何か、また何をしているかを自ら他の人に知らせ、地域社会におけるクラブの存在を一層際立てさせる。とありますので、当クラブの会員さんの紹介を通じてロータリークラブを世に知つてもらうべく、読売新聞の折り込み誌、ラファームに掲載し、和歌山県下10万部配布しました。また、ロータリーの友を和歌山市内6か所のコミュニティーセンターに毎月、設置してもらえるように進めまして、現在役員会の決済待ちとなっています。この事に関しましては、記事内容や個人情報を会員以外の目に触れると懸念もありましたので、ロータリーの友事務所に確認しましたところ、「全国の他クラブも地元の公共機関に配布していますし、大いに広報活動に役立てて下さい」とのことでした。今後も4人の会報委員さんと共に事業を進めて行きたいと考えています。

以上



### ■ 親睦委員会 委員長 楠見珠緒 副委員長 中板国夫



いつも親睦委員会にご協力頂き ありがとうございます。

本年度前半期最初に親睦委員会を開催し、委員の皆様からいろんな意見を頂き、本年度委員会運営に生かしたいと思っております。

10月末には和歌山中RCとの合同例会、11月には琵琶湖畔への親睦旅行と拙いながらもいくつかの行事を無事終了するところであります。今月25日のクリスマス例会、来年3月のアゼリアRCとの合同例会、6月の最終親睦夜間例会へのかわらぬ 皆様のご協力を心からお願ひいたします。



### ■ 姉妹クラブ委員会 委員長 溝落和作 副委員長 太田豊隆

9月28日(水)の熊本東南RCの例会に出席してお見舞いを申し上げ友好を温めました。

翌29日(木)は被災地を訪問して被害の大きさに驚き、復興には多大な時間がかかることを確認してきました。参加者は土屋会長を含め16名の参加でした。



### ■ ソング委員会 委員長 有本隆行 副委員長 赤在依美



ソング委員会の有本です。

毎回ロータリーソングを担当させていただいて、ありがとうございます。

最初一番危惧していましたのは、私は休むことが多いので例会をスムーズに運営していただくために、委員会や皆さんに協力していただく事でした。

お陰さまでこの半年大きな不都合もなかったのは皆さんのお陰と感謝しています。

私は歌う時に一番注意しているのは、ピアニストの伴奏に合わせことと歌詞の発音をハッキリすることでした。でも音楽関係のプロではないのと、致命的な耳の欠陥があって、皆さんには大変不愉快な思いをさせているかもしれません。

残り半期、一生懸命努めますが、もし声が出なくなったりしましたら、委員に限らず交代していただければと思っています。



### ■ 職業奉仕委員会 委員長 島本昌幸 副委員長 稲葉敏彦

上半期活動内容は、11月26日(土)泉大津市にて職業奉仕委員会会議が開催されましたのみとなりました。

下半期は、1月18日(水)の例会において外部卓話としまして、清水一芳園・清水和正さんに「お茶のお話・特定保健用食品の問題について」講演頂きます。

宜しくお願ひします。



### ■ 社会奉仕委員会 委員長 塩崎和仁 副委員長 中岡隆文



去年度の社会奉仕活動に引き続き、8月2日に、たま電車に訪問し話を聞いてきました。一時、廃線の危機にあった南海貴志川線が岡山の両備グループに引き継がれ、地域の市民グループなどの活動に後押しされ、ユニークな電車の採用、たま駅長による癒し効果が話題になり、今や外国からの訪問者も増加しております。

しかしながら経営状況は未だに厳しい状況です。電車の利用者の調査をすると近隣住民の足にもなり、海外からの観光客も多くみられます。

生活路線であります利用者やまた観光客の興味を増していただき、海外への発信もされ宣伝効果も期待できるため、たま電車内の本棚の空きスペースに絵本や写真集等を設置する予定です。内訳は、日本人向けの本300冊・中国人向けの本50冊・韓国人向けの本50冊・アメリカ人向けの本50冊程度寄付する予定です。

## ■ 国際奉仕(青少年交換担当)委員会 委員長 中岡隆文 副委員長 坂口和男



1. 第1回委員会を6月16日に行い下記活動計画について話し合いました。
  - (1) アンコール小児病院の支援について、岡山後楽園RCより引き続き支援要請があれば支援を行います。
  - (2) 新規奉仕活動を検討します。(現時点では決定しておりません。)
    - ・ネパール小学校の地震被害とその後。(現在の状況は不明です。)
    - ・台北東南RCの周年事業としての国際奉仕に協力。
    - ・パナソニックのソーラランタン寄贈支援。(内容を調査中です。)
  - (3) ロータリー財団委員会、米山記念奨学会委員会との連携。
  - (4) 国際大会への出席(6/10~14 アトランタ)を計画します。(下期に参加日程・費用を提案します。)
2. 9月4日に地区青少年交換委員長会議があり、ロータリー長期(1年間)・短期(3か月)青少年交換の募集案内がありました。スケジュールは、2018年8月出発予定で、2017年4月頃までに仮申請書提出、2017年8月頃選考、2017年9月から1年間オリエンテーション。
3. 9月10日に地区国際奉仕委員長会議あり、
  - ・各クラブへの事前アンケート結果の報告で、昨年度人道的支援17クラブ、教育的支援18クラブでした。
  - ・グローバル補助金の活用には3万ドル以上のプロジェクトが必要なため、地区ロータリー財団委員長より補助金活用の推進説明がありました。
  - ・事例報告では、橋本RCのネパールでの学校建設・バイオマストイレのプロジェクト報告がありました。
  - ・アトランタ国際大会への登録説明があり、必ず各クラブより日本事務局へ申し込んでください。
4. 和歌山中RCより依頼のフィリピン支援に、35000円を支援しました。
5. 第2回委員会を12月14日に行い、岡山後楽園RCより依頼があり、昨年までのアンコール小児病院の支援に引き続き、今年度より同じNPO法人が運営するラオ・フレンズ小児病院支援プロジェクト(4クラブ5000ドル/年間・14万円程度/1クラブ)に5年間の支援を決定し理事会に提出します。

## ■ ロータリー財団委員会 委員長 籠田 弘 副委員長 寺下能明



- 1) ロータリー財団100周年記念事業の一環として会長名のロータリーダイナースクラブ法入カードの推進に土屋会長・理事会のご協力により加入して頂きました、利用代金の0.3%がポリオ撲滅資金に活用されます
- 2) 財団グローバル資金を利用しての海外留学を問い合わせてきた、元東南育英会OBの尾崎君に対し、山本(唯)会員と地区にアプローチ、偶々本年英国に当資金を活用して留学する女子学生が居り、福井地区ガバナー、中野委員長等出席の席に尾崎君も交えその体験談を聞く機会があり参加させて頂きました。彼も大変刺激を受け今後の方向を決める上で大変参考になったようです
- 3) 社会奉仕委員会の奉仕活動資金の一部に、ロータリー財団地区補助金の活用がほぼ確定しています
- 4) 11月2日(水)の例会(財団フォーラム)に中野地区財団委員長からロータリーの仕組みについて判りやすく卓話をして頂きました

## ■ 米山記念奨学会委員会 委員長 小林一三 副委員長 寺下能明



米山記念奨学会委員長の小林です。

今年度の委員会の具体的目標としてあげてきました

1. カウンセラーとして、奨学生のケアについて  
十分かどうかわかりませんが、来年3月までがんばります。
2. 当クラブが世話クラブとして、奨学生に例会出席、クラブ行事に参加してもらい、ロータリー精神を学び、日本人の心に触れる機会を創れているか月1回の例会に出席してもらい、クラブ会員との交流ができています。

11月には、赤在会員、郷間会員のご厚意により、リンゴ狩り、みかん狩りに奨学生を招待していただき、日本での貴重な体験ができたのではないでしょか

また、吉田会員には、奨学生の就職先の紹介を頂き、進んでいるようございます。

3. 米山記念奨学会事業の理解を深め、特別寄付金のご協力をお願いできているか。

今年度は、世話クラブとして、奨学生と接することができ、米山記念奨学会事業を身近に理解する機会をえました。

まだ、下半期6ヶ月あります。是非米山記念奨学会事業に賛同していただき、特別寄付をお待ちしています。以上



## ■ 青少年奉仕(東南育英会担当)委員会 委員長 竹中昭美 副委員長 釜中甫干



- 7月11日(月) 県立向陽高校へ、1年生2名、2年生2名、3年生2名 計6名に奨学金を支給。(土屋会長・中曾幹事と出席)
- 8月27日(土) 虎伏学園(とらふす祭り)に参加。(中曾幹事と参加)
- 11月17日(木) 県立向陽高校へ、1年生2名、2年生2名、3年生2名に計6名に奨学金を支給。(土屋会長・中曾幹事と出席)
- 12月3日(土) 和歌山市軟式野球連盟学童部 東支部納会に出席。(土屋会長と出席) 12月3日(土) 虎伏学園のクリスマスツリーライト式(中曾幹事・塩崎社会奉仕委員長)に出席をお願いいたしました。



## ■ 会場監督委員会 委員長 山田さち子 副委員長 南美和子



会場監督して心がけたことは後方のテーブルまで届くように少しでも大きな声でと心がけました。

初日緊張と意気込みすぎたのか例会終了後、北朝鮮の解説みたいだったと笑われました。それ以降なるべくソフトに分かりやすく伝えるように心がけました。それと二箇所この所はこう伝えたほうが良いのではとアドバイスを受けました。有難うございました。反省ばかりです。残り半年どうか宜しくお願ひいたします。



## ■ 会計 委員長 谷口 拓 副委員長 片畠宏造・郷間博敏

奉仕会計 2016年7月～11月 現在の報告をいたします。

## 抜粋: 第 11 章「お金だけではない価値」 「MY ROTARY ニュース・記事より抜粋」



ロータリー創設者のポール・ハリスは、ロータリー財団に最初の個人的な寄付を行ったことに加え、存命中は収益を自分へ、没後は妻のジーンへ、ジーンが亡くなった後は、残高すべてをロータリー財団へ送るという公益信託を創設しました。この信託は、恵まれない子どもたちの教育に役立てられました。2016-17 年度はロータリー財団 100 周年度です。財団は、世界中の地域に変化をもたらしてきたロータリアンの活動を、1 世紀にわたって支援してきました。

2016-17 年度はロータリー財団 100 周年度です。財団は、世界中の地域に変化をもたらしてきたロータリアンの活動を、1 世紀にわたって支援してきました。

当ウェブサイトでは今年度、財団 100 周年記念誌『世界でよいことをしよう：人びとの心に触れた 100 年』からの抜粋を紹介しています。この本は、[shop.rotary.org](http://shop.rotary.org) からもご注文いただけます（日本語版をお求めの場合は、“Japanese”をクリック）。

財団 100 周年の詳細や記念行事を実施するためのヒントを、[www.rotary.org/ja/foundation100](http://www.rotary.org/ja/foundation100) からご覧ください。

以下は、第 11 章「お金だけではない価値」からの抜粋です。

1944 年、ポール・ハリスは、存命中は収益を自分へ、没後は妻のジーンへ、ジーンが亡くなった後は、残高すべてをロータリー財団へ送るという公益信託を創設した。1964 年にジーンが亡くなると、この遺贈を受けた財団管理委員会は、ハリスの遺志を継いで、恵まれない子どもたちの教育にこの資金を役立てている。

支援する財団プログラムを指定し、敬愛する人の名を冠した寄付をする人もいた。オーストラリア出身のロータリアンとして初めてロータリー会長（1948-49 年度）に就任したアンガス・ミッチャエルは、その伝統を始めた一人である。ミッチャエルは 1949 年、オーストラリアの学生を支援する奨学金を設立し、妻の名前を取って「ティーニー・ロバートソン・ミッチャエル・メモリアル・フェローシップ」と名づけた。これが長い伝統となり、今日まで続いている。

イタリアのブルーノ・ギージは、リミニ・ロータリークラブ会員であった父親を偲んで何かしたいと考えていた。父からいつもロータリーの素晴らしい活動を聞いて育ったギージは、学校を出て家業を手伝い、後に自らソフトウェア会社を設立。これがイタリアで大手の会社に成長して成功を収め、自らもロータリーに入会して、クラブ会長に就任、その後ロータリー財団メジャードナーとなった。1988 年、父親の没後 20 周年を機会に、35 万ドルをロータリー財団に寄付し、これをアフリカとブラジルの難民や病気の子どもたち、またストリートチルドレンを助けるための冠名基金とした。

財団の慈善活動の恩恵を受けた人の中には、ほかの人も同じ経験ができるように、恩返しの寄付をする人もいた。例えば、ロータリー財団の初代奨学生の 1 人であった緒方貞子氏は、大学生のときに受けた奨学金に対する感謝の印として、後に財団へ 1 万ドルを寄付した。「私が今の道を歩んでいるのは、ロータリーのおかげです。国際親善奨学生としてアメリカに渡らなかったら、国際関係を学びたいと志することはなかったでしょう」

リヒャルト・イルゲン氏は、ドイツ、マインツからの国際親善奨学生として、米国イリノイ州、エバンストンのノースウェスタン大学でビジネスと経済学を学んだ。卒業後はクラフトフーズに入社し、そこで輝かしいキャリアを築くと、ほかの人にも自分と同じような奨学金の機会を提供したいと考えるようになった。イルゲン氏は、イレーネ夫人とともに寄付を決め、クラフトフーズからの上乗せ寄付も確保して、計 23,000 ドルを提供。この寄付で、ドイツの地区からノースウェスタン大学に留学する奨学生 1 名を支援した。

デイビット C. フォワード

1-Dec-2016